

特別展

紀伊徳川家

やきもの 新時代

— 富国と栄華の19世紀 —



南紀男山焼 信楽圖面製 色絵花蝶文花生 天保6年(1835) 拝領
和歌山市立博物館蔵



瑞芝焼 青磁登竜門文遊環花生 個人蔵



置上菊香合 永楽保全作 文政11年(1828)
和歌山県立博物館蔵



南紀男山焼 染付英文散火鉢 文政12年(1829)
長保寺蔵

平成30年

4月21日(土) ~ 6月3日(日)

※月曜休館

ただし4月30日(月)は開館
5月1日(火)は休館

●開館時間/午前9時30分~午後5時(ただし入館は午後4時30分まで)

●入館料/一般510円(410円)・大学生300円(250円)

※()内は20人以上の団体料金

※高校生以下、65歳以上、障害者、和歌山県内に在学中の

外国人留学生は無料

●主催/和歌山県立博物館



和歌山県立博物館

<http://www.hakubutu.wakayama-c.ed.jp>

〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14 TEL.073-436-8670 FAX.073-423-2467

WAKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM

— 和歌山城・南側 —

紀伊徳川家

やきもの
新時代

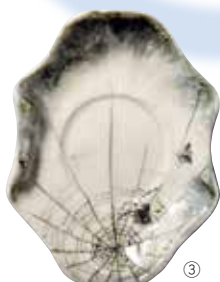
—富国と栄華の19世紀—



④



②



③



①



⑦



⑥



⑤

一九世紀初頭から明治一〇年（一八七七）頃にかけての約八〇年間、紀州（現在の和歌山県と三重県の一部）は、富国政策の一環として、陶磁器生産が盛んに行われました。数量、デザインともに多くの製品が作られ、なかでも「紀州三天窯」として知られる借楽園焼、瑞芝焼、南紀男山焼では数々の名品が生み出されました。

借楽園焼は、十代藩主徳川治宝（一七七一—一八五三）が直接関わり、隠居所である西浜御殿で作った御庭焼で、サロンでの茶焼や、鮮烈な紫と浅葱色に彩られた交趾写の磁器が特徴的です。全国の御庭焼の中でも特に有名で、明治時代には外国での人気も高く、模造品が盛んに輸出されたほどでした。瑞芝焼は、紀州では最も長く操業した民営の窯で、質の高い青磁を得意としました。南紀男山焼は、藩主導で経営した大規模な窯で、白地に青の染付を中心とした陶磁器を大量に生産しました。陶磁器製作の指導には、楽旦入（一七九五—一八五四）、永楽保全（一七九五—一八五四）、仁阿弥道八（一七八三—一八五五）など京都の著名な陶工を招き、藩内でも、光川亭仙馬（一八六一—一八九三）などの名工が登場しました。多くの人が関わり生まれた華やかなやきものは、紀州の繁栄と文化の爛熟を如実に伝えています。

この展覧会では、そのなかでも制作年が判明する作品に注目して展示することで、刻々と変化する意匠の歴史や同時期の窯同士つながり、江戸から明治への移り変わりがわかる展示となるよう努めています。当館でのやきものをテーマにした特別展は、二三年ぶりの開催です。どうぞお楽しみに。

①借楽園焼 交趾写鴨香合 仁阿弥道八作 文政10年(1827) 滴翠美術館蔵 ②三楽園焼 更紗手兜鉢 安政年間(1854~60) 当館蔵 ③紀北町指定文化財 南紀小山焼 染付蜘蛛の巣文茶托 明治3~5年(1870~72) 海山郷土資料館蔵 ④南紀高松焼 色絵牡丹図土瓶 当館蔵 ⑤染付獅子図香炉 光川亭仙馬作 明治4年(1871) 当館蔵 ⑥借楽園焼 交趾写獅子置物 天保3年(1832) 拝領 個人蔵 ⑦清寧軒焼 赤楽茶碗 銘「眉寿」 楽旦入作 天保12年(1841) 個人蔵

●関連イベント

1. 講演会 (13:30~15:00 和歌山県立近代美術館〔博物館隣〕2階ホール)

① 5月13日(日)《国際博物館の日記念事業》

「百花繚乱・紀州のやきもの—その魅力とルーツ—」 梶山博史氏(中之島香雪美術館学芸課長)

② 5月20日(日)「紀州のやきもの—御庭焼を中心に—」 中村貞史氏(元和歌山県立紀伊風土記の丘館長)

2. 博物館講座 (5月27日(日) 13:30~15:00 博物館2階学習室)

「やきものアイディアブック—南紀男山焼No.1 陶工・光川亭仙馬の下絵帖を覗く—」 袴田舞(当館学芸員)

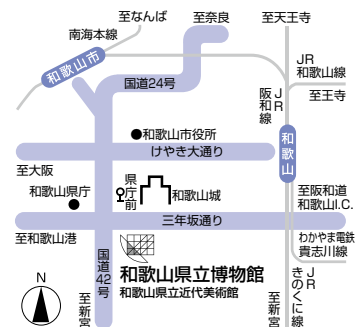
※以上申込不要・無料

3. ミュージアム・トーク (学芸員による展示解説)

(13:30~ 1時間程度 博物館1階企画展示室)

※申込不要・入館手続必要

4月22日(日)、28日(土)、5月4日(金・祝)、6月3日(日)



◆JR和歌山駅・南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車、徒歩2分
◆和歌山ICから車で約20分 ◆和歌山港から車で約7分
駐車場 博物館へ入館の方は2時間まで無料、以後30分ごとに100円。

和歌山県立博物館
http://www.hakubutu.wakayama-c.ed.jp
〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14 TEL.073-436-8670 FAX.073-423-2467
WAKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM
— 和歌山城・南側 —

まちなかの博物館・美術館をめぐる！

和歌山市内5館（和歌山県立近代美術館、和歌山県立博物館、和歌山市立博物館、和歌山城天守閣、わかやま歴史館）の相互割引制度があります。是非ご利用ください。）